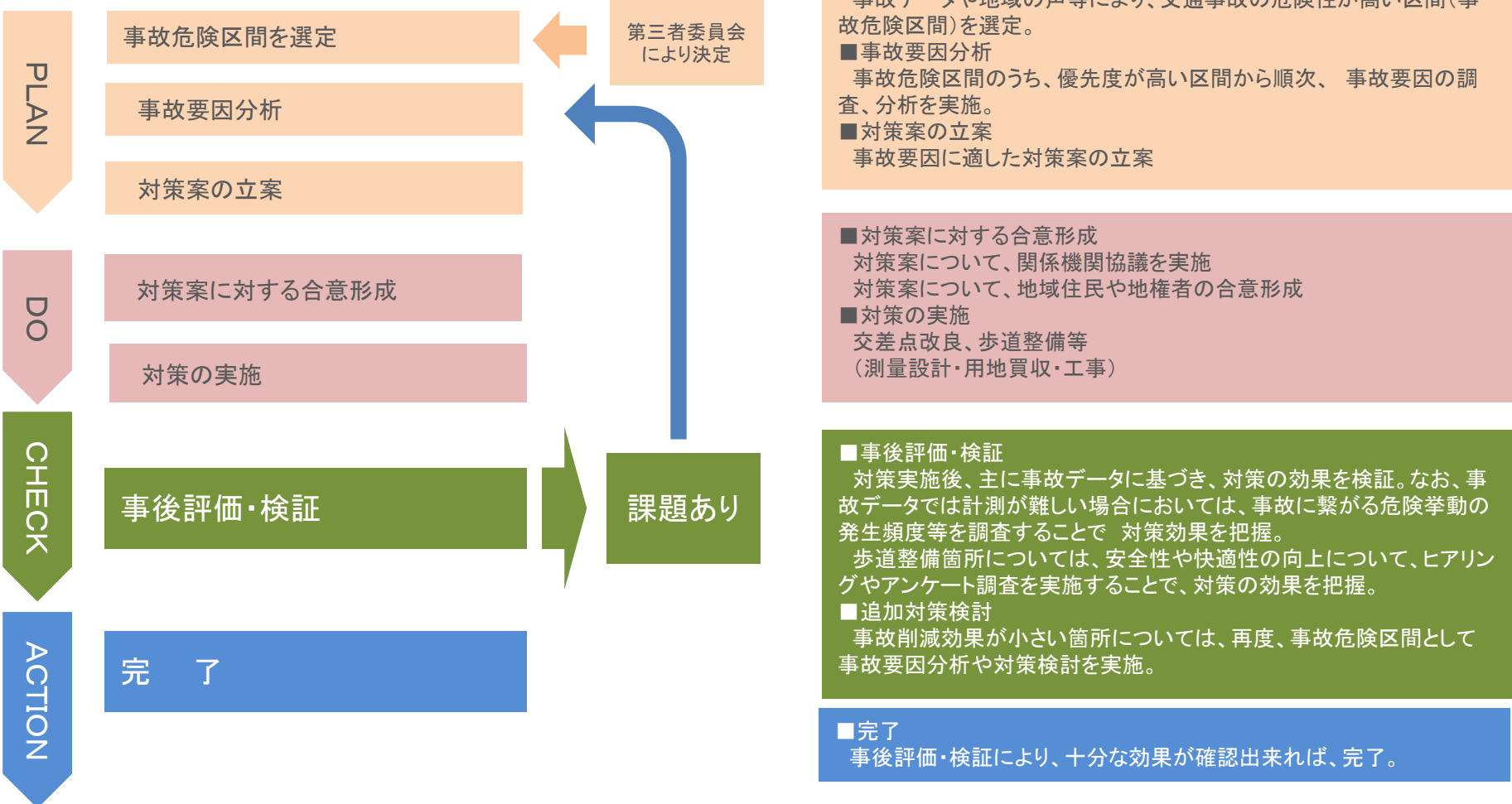


事故ゼロプランについて

1. 事故ゼロプランとは

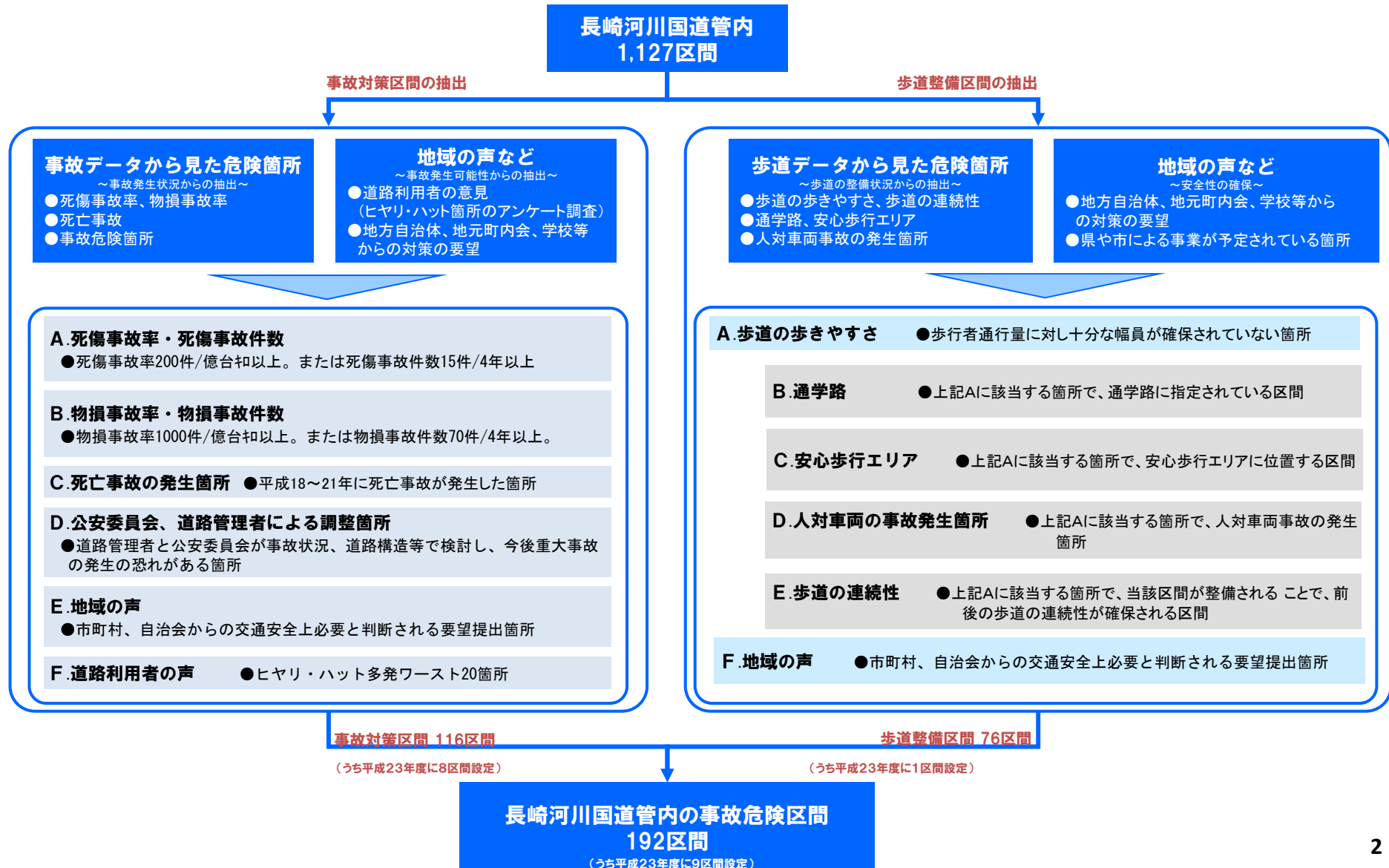
事故ゼロプランとは、事故データや地域の声等に基づき、交通事故の危険性が高い区間(事故危険区間)を選定し、地域住民への注意喚起や事故要因に即した対策を重点的・集中的に講ずることにより、効率的・効果的な交通事故対策を推進すると共に、完了後はその効果を計測・評価し、マネジメントサイクルにより随時改善を図るもので、平成22年度から導入された仕組みです。

2. 事故ゼロプランのマネジメントサイクル



事故危険区間抽出フロー

- 「事故ゼロプラン」における事故危険区間(事故対策及び歩道整備)の抽出フローを示す。
- 車両事故対策箇所は、事故多発箇所、道路利用者の声、地域の声等から抽出。
- 歩行者事故対策箇所は、歩道の整備状況、地域の声等から設定。



長崎河川国道事務所管内における「事故危険区間(事故対策)」

事故危険区間の選定方法

STEP1

長崎河川国道事務所が管理している直轄国道(延長168.7km)について、以下の視点で対策箇所の候補を抽出。

事故データから見た危険箇所

～事故発生状況からの抽出～

- 死傷事故率、物損事故率
- 死亡事故
- 事故危険箇所

地域の声など

～事故発生可能性からの抽出～

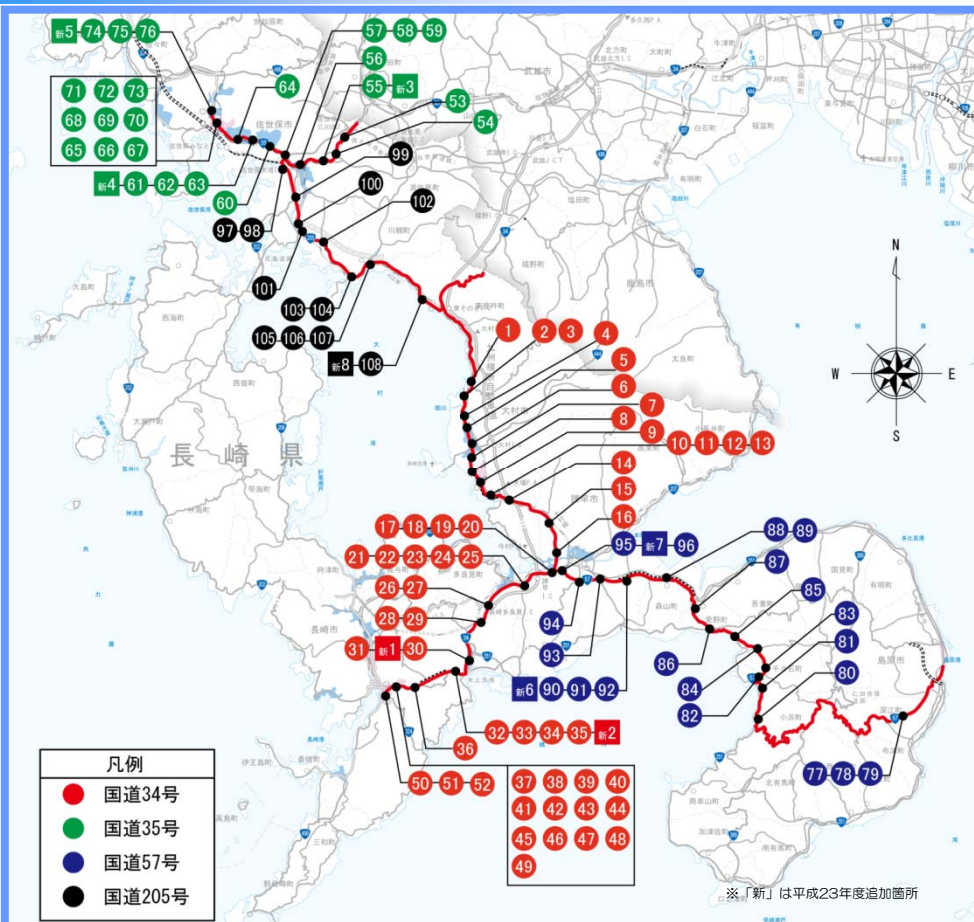
- 道路利用者の意見(ヒヤリ・ハット箇所のアンケート調査)
- 地方自治体、地元町内会、学校等からの対策の要望

STEP2

以下の6つ指標により事故危険区間を選定。

- A 死傷事故率・死傷事故件数**
 - 死傷事故率200件/億台キロ以上。または死傷事故件数15件/4年以上
- B 物損事故率・物損事故件数**
 - 物損事故率1000件/億台キロ以上。または物損事故件数70件/4年以上。
- C 死亡事故の発生箇所**
 - 平成18～21年に死亡事故が発生した箇所
- D 公安委員会、道路管理者による調整箇所**
 - 道路管理者と公安委員会が事故状況、道路構造等で検討し、今後重大事故の発生の恐れがある箇所
- E 地域の声**
 - 市町村、自治会からの交通安全上必要と判断される要望提出箇所
- F 道路利用者の声**
 - ヒヤリ・ハット多発ワースト20箇所

「事故危険区間(事故対策)」の位置図



備考	箇所名(区間名)	抽出指標					死亡	調整済	調整中
		A	B	C	D	E			
1	国道34号 美穂町野原								
2	国道34号 大村市松原								
3	国道34号 大村市東山口交差点								
4	国道34号 大村市小島交差点								
5	国道34号 大村市竹松交差点								
6	国道34号 大村市松原交差点								
7	国道34号 大村市松原一丁目								
8	国道34号 大村市松原二丁目								
9	国道34号 大村市松原三丁目								
10	国道34号 大村市松原四丁目								
11	国道34号 大村市松原五丁目								
12	国道34号 大村市松原六丁目								
13	国道34号 大村市松原七丁目								
14	国道34号 大村市松原八丁目								
15	国道34号 大村市松原九丁目								
16	国道34号 大村市松原十丁目								
17	国道34号 大村市松原十一丁目								
18	国道34号 大村市松原十二丁目								
19	国道34号 大村市松原十三丁目								
20	国道34号 大村市松原十四丁目								
21	国道34号 大村市松原十五丁目								
22	国道34号 大村市松原十六丁目								
23	国道34号 大村市松原十七丁目								
24	国道34号 大村市松原十八丁目								
25	国道34号 大村市松原十九丁目								
26	国道34号 大村市松原二十丁目								
27	国道34号 大村市松原二十一丁目								
28	国道34号 大村市松原二十二丁目								
29	国道34号 大村市松原二十三丁目								
30	国道34号 大村市松原二十四丁目								
31	国道34号 大村市松原二十五丁目								
32	国道34号 大村市松原二十六丁目								
33	国道34号 大村市松原二十七丁目								
34	国道34号 大村市松原二十八丁目								
35	国道34号 大村市松原二十九丁目								
36	国道34号 大村市松原三十丁目								
37	国道34号 大村市松原三十一丁目								
38	国道34号 大村市松原三十二丁目								
39	国道34号 大村市松原三十三丁目								
40	国道34号 大村市松原三十四丁目								
41	国道34号 大村市松原三十五丁目								
42	国道34号 大村市松原三十六丁目								
43	国道34号 大村市松原三十七丁目								
44	国道34号 大村市松原三十八丁目								
45	国道34号 大村市松原三十九丁目								
46	国道34号 大村市松原四十丁目								
47	国道34号 大村市松原四十一丁目								
48	国道34号 大村市松原四十二丁目								
49	国道34号 大村市松原四十三丁目								
50	国道34号 大村市松原四十四丁目								
51	国道34号 大村市松原四十五丁目								
52	国道34号 大村市松原四十六丁目								

備考	箇所名(区間名)	抽出指標					死亡	調整済	調整中
		A	B	C	D	E			
53	国道35号 佐賀市東口/野原								
54	国道35号 長門川河口交差点								
55	国道35号 佐賀市東山交差点								
56	国道35号 佐賀市東山交差点								
57	国道35号 佐賀市東山交差点								
58	国道35号 佐賀市東山交差点								
59	国道35号 佐賀市東山交差点								
60	国道35号 佐賀市東山交差点								
61	国道35号 佐賀市東山交差点								
62	国道35号 佐賀市東山交差点								
63	国道35号 佐賀市東山交差点								
64	国道35号 佐賀市東山交差点								
65	国道35号 佐賀市東山交差点								
66	国道35号 佐賀市東山交差点								
67	国道35号 佐賀市東山交差点								
68	国道35号 佐賀市東山交差点								
69	国道35号 佐賀市東山交差点								
70	国道35号 佐賀市東山交差点								
71	国道35号 佐賀市東山交差点								
72	国道35号 佐賀市東山交差点								
73	国道35号 佐賀市東山交差点								
74	国道35号 佐賀市東山交差点								
75	国道35号 佐賀市東山交差点								
76	国道35号 佐賀市東山交差点								
77	国道35号 佐賀市東山交差点								
78	国道35号 佐賀市東山交差点								
79	国道35号 佐賀市東山交差点								
80	国道35号 佐賀市東山交差点								
81	国道35号 佐賀市東山交差点								
82	国道35号 佐賀市東山交差点								
83	国道35号 佐賀市東山交差点								
84	国道35号 佐賀市東山交差点								
85	国道35号 佐賀市東山交差点								
86	国道35号 佐賀市東山交差点								
87	国道35号 佐賀市東山交差点								
88	国道35号 佐賀市東山交差点								
89	国道35号 佐賀市東山交差点								
90	国道35号 佐賀市東山交差点								
91	国道35号 佐賀市東山交差点								
92	国道35号 佐賀市東山交差点								
93	国道35号 佐賀市東山交差点								
94	国道35号 佐賀市東山交差点								
95	国道35号 佐賀市東山交差点								
96	国道35号 佐賀市東山交差点								
97	国道35号 佐賀市東山交差点								
98	国道35号 佐賀市東山交差点								
99	国道35号 佐賀市東山交差点								
100	国道35号 佐賀市東山交差点								
101	国道35号 佐賀市東山交差点								
102	国道35号 佐賀市東山交差点								
103	国道35号 佐賀市東山交差点								
104	国道35号 佐賀市東山交差点								
105	国道35号 佐賀市東山交差点								
106	国道35号 佐賀市東山交差点								
107	国道35号 佐賀市東山交差点								
108	国道35号 佐賀市東山交差点								

<用語の解説>

- 死傷(物損)事故率: 1km区間を1億台の自動車が行ったとき、その区間内で死傷事故または物損事故が発生する割合のこと。で、事故の起こりやすさの目安となる数値。(H18~H21の過去4年間の事故件数の集計データ)
- 死亡事故: H18~H21年の4年間に死亡事故が発生した箇所
- ヒヤリ・ハット: ヒヤリ・ハットアンケートにおいて指摘件数が多かったワースト20箇所

長崎河川国道管内における「事故危険区間(歩道整備)」

事故危険区間の選定方法

STEP1

長崎河川国道事務所が管理している直轄国道(延長168.7km)について、以下の視点で対策箇所の候補を抽出。

歩道データから見た危険箇所

～歩道の整備状況からの抽出～

- 歩道の歩きやすさ、歩道の連続性
- 通学路、安心歩行エリア
- 人対車両事故の発生箇所

地域の声など

～安全性の確保～

- 地方自治体、地元町内会、学校等からの対策の要望
- 県や市による事業が予定されている箇所

STEP2 以下の7つ指標により事故危険区間を選定。

A. 歩道の歩きやすさ ●歩行者通行量に対し十分な幅員が確保されていない箇所

B. 通学路 ●上記Aに該当する箇所で、通学路に指定されている区間

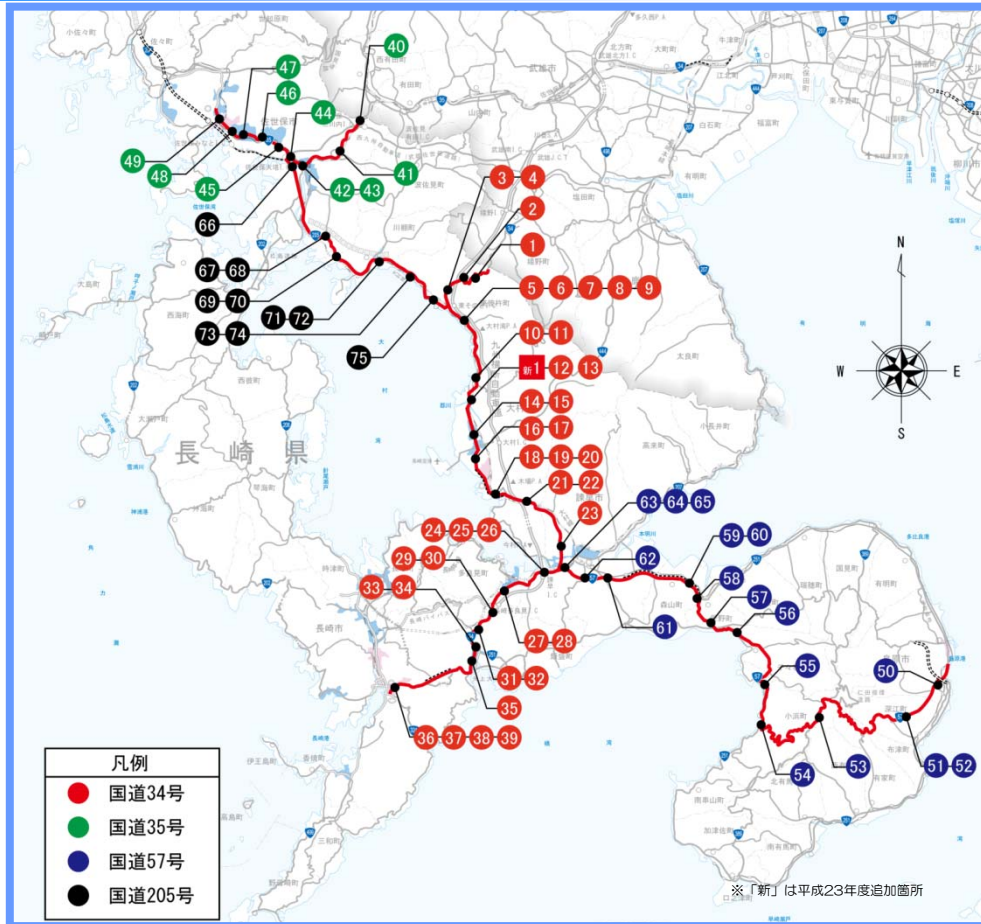
C. 安心歩行エリア ●上記Aに該当する箇所、安心歩行エリアに位置する区間

D. 人対車両の事故発生箇所 ●上記Aに該当する箇所、人対車両事故の発生箇所

E. 歩道の連続性 ●上記Aに該当する箇所、当該区間が整備されることで、前後の歩道の連続性が確保される区間

F. 地域の声 ●市町村、自治会からの交通安全上必要と判断される要望提出箇所

「事故危険区間(歩道整備)」の位置図



番号	箇所名(区間名)	抽出指標					対策状況			
		A	B	C	D	E	F	完了	事業中	検討中
1	国道34号 東彼杵町坂本郷									
2	国道34号 東彼杵町法曹寺郷		○							
3	国道34号 東彼杵町法曹寺郷		○							
4	国道34号 東彼杵町彼杵宿郷		○							
5	国道34号 東彼杵町千崎郷		○							
6	国道34号 東彼杵町瀬戸郷		○							
7	国道34号 東彼杵町駄地郷		○							
8	国道34号 東彼杵町平似田郷		○							
9	国道34号 東彼杵町里郷		○							
10	国道34号 東彼杵町里郷～大村市松原		○					○		
11	国道34号 大村市松原		○							
11	国道34号 大村市松原		○							
新1	国道34号 大村市松原本町(高橋手橋)		○							○
12	国道34号 大村市赤石町～首岡		○							
13	国道34号 大村市皆岡		○							
14	国道34号 大村市宮小路～竹松町竹松駅前		○							
15	国道34号 大村市南口町		○							
16	国道34号 大村市桜馬場一丁目		○							
17	国道34号 大村市協和町		○							
18	国道34号 大村市久原一丁目		○							○
19	国道34号 大村市久原二丁目		○							○
20	国道34号 大村市岩松町		○							
21	国道34号 諫早市下大渡野町付近		○							
22	国道34号 諫早市下大渡野町付近		○							
23	国道34号 諫早市小船越		○							
24	国道34号 諫早市貝津町		○							
25	国道34号 諫早市貝津町		○							
26	国道34号 諫早市久山町		○							
27	国道34号 諫早市多良見町		○							
28	国道34号 諫早市多良見町		○							
29	国道34号 長崎市中里町～つつじヶ丘交差点付近		○							
30	国道34号 長崎市中里町		○							○
31	国道34号 長崎市古賀町		○							
32	国道34号 長崎市平間町		○							○
33	国道34号 長崎市矢上町		○							
34	国道34号 長崎市矢上町～田中町		○							
35	国道34号 長崎市田中町～切通交差点付近		○							○
36	国道34号 長崎市本河内町		○							
37	国道34号 長崎市桜馬場二丁目		○							
38	国道34号 長崎市万才町		○							
39	国道34号 長崎市万才町		○							
40	国道35号 佐世保市本原町		○							
41	国道35号 佐世保市三川内		○							
42	国道35号 上原町祝田平松入口交差点付近		○							○
43	国道35号 陣の内歩道橋付近～陣の内町		○							
44	国道35号 佐世保市勝海町～大塔		○							
45	国道35号 佐世保市大塔		○							
46	国道35号 佐世保市日字町		○							
47	国道35号 佐世保市大和町～藤原町		○							
48	国道35号 福石町交差点付近～佐世保市福石町		○							
49	国道35号 佐世保市白風町～高砂町		○							
50	国道57号 島原市大下町		○							○
51	国道57号 南島原市深江町									
52	国道57号 南島原市深江町									○
53	国道57号 雲仙市小浜町									
54	国道57号 雲仙市小浜町		○							○
55	国道57号 雲仙市小浜町～千々石町		○							○
56	国道57号 雲仙市千々石町		○							○
57	国道57号 雲仙市雲野町		○							
58	国道57号 諫早市森山町		○							○
59	国道57号 諫早市森山町		○							○
60	国道57号 諫早市森山町		○							○
61	国道57号 黒崎町～小野町付近～宗方町		○							○
62	国道57号 黒崎町Aコープ付近		○							
63	国道57号 諫早市葉面		○							
64	国道57号 諫早市葉面～小船越		○							○
65	国道57号 諫早市小船越		○							
66	国道205号 佐世保市大塔		○							
67	国道205号 佐世保市長畑町		○							○
68	国道205号 佐世保市長畑町		○							○
69	国道205号 佐世保市川棚町小車郷		○							
70	国道205号 佐世保市川棚町小車郷		○							
71	国道205号 川棚町栄町		○							
72	国道205号 川棚町百津郷		○							
73	国道205号 東彼杵町小曾琴郷		○							
74	国道205号 東彼杵町小曾琴郷		○							
75	国道205号 東彼杵町蔵本郷		○							○

<用語の解説>

●安心歩行エリア: 歩行者及び自転車利用者の安全な通行を確保するために緊急に対策を講ずる必要があると認められる地区。また、交通安全施設等の整備や交通規制により交通事故抑止効果の見込まれる地区

※「新」は平成23年度追加箇所

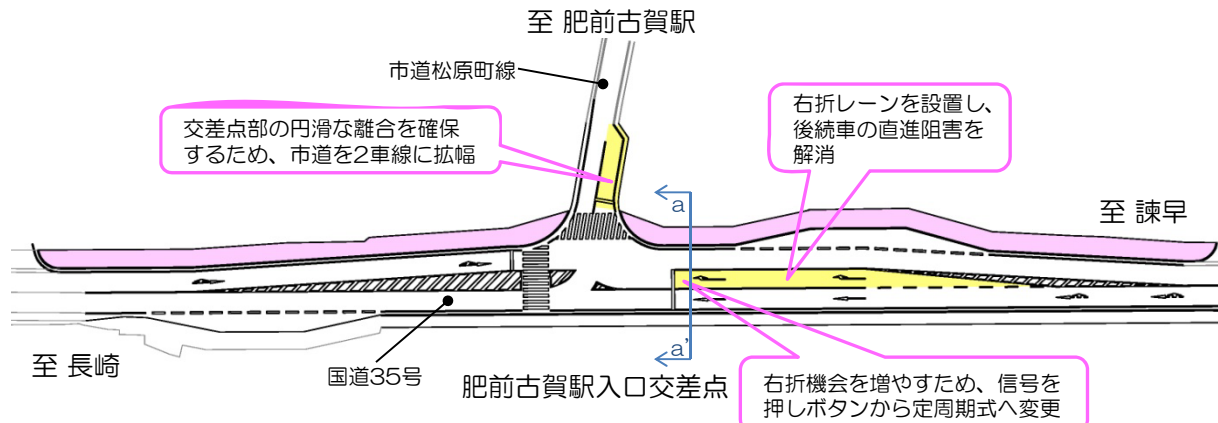
対策事例(R34肥前古賀駅入口交差点での事故防止対策)【H24.3完成】

事故危険区間番号 29(事故対策)
(長崎市松原町)

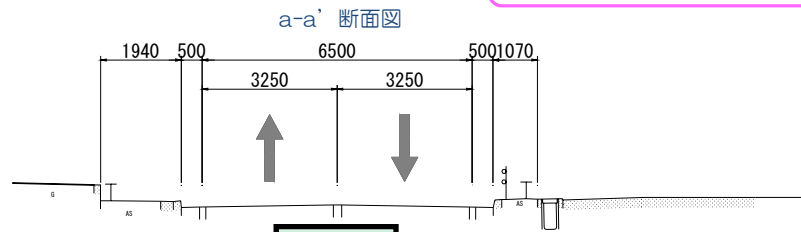
長崎市古賀町・松原町付近の国道34号は日当たり約2万3千台もの交通量がありますが、同市松原町の肥前古賀駅入口交差点は右折レーンが無く、右折車両による渋滞や追突事故が多発していました。また、古賀小学校の通学路に指定されていますが、歩道が無く歩行者の安全確保に課題がありました。

そこで、国土交通省長崎河川国道事務所では、平成17年度から交差点改良事業に着手し、右折レーンの設置、及び歩道整備を実施し、平成24年3月に工事が完成しました。

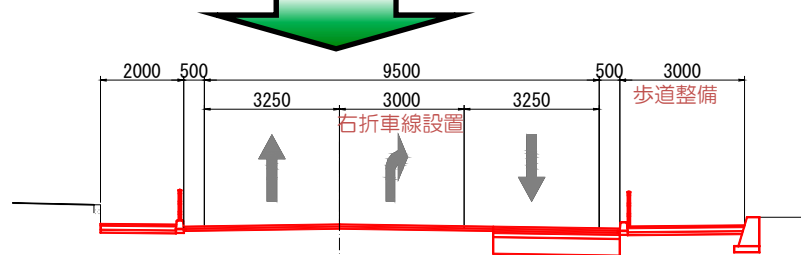
交差点改良の内容



交差点改良前



交差点改良後



整備効果

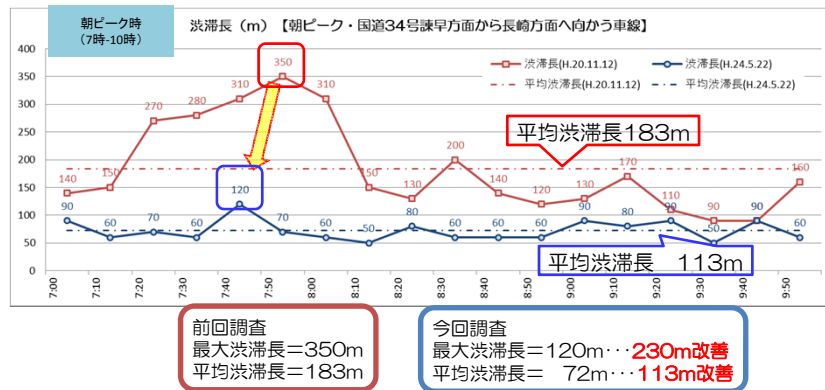
国土交通省長崎河川国道事務所では、現地で渋滞長調査を実施しました。

この調査は対策前(H20.11.12調査)と対策後(H.24.5.29調査)の2回実施し、対策による渋滞長の変化をとらえました。

また、地域住民を対象としたアンケート調査もあわせて行ったところ、以下のとおりの調査結果になりました。

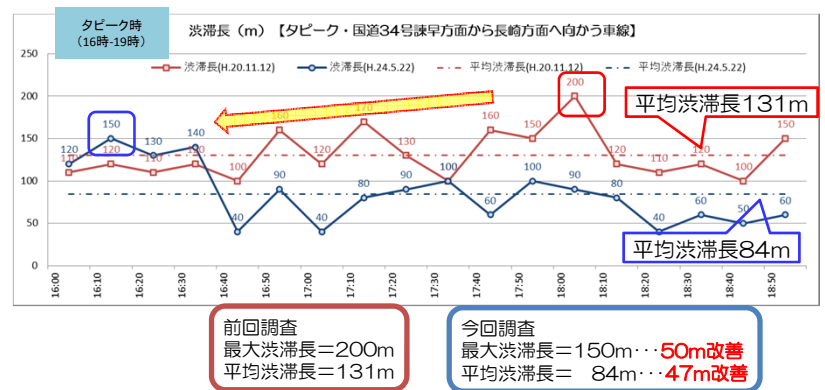
■渋滞長の大幅な改善

右折レーンの設置により、国道34号の諫早方面から長崎方面へ向かう車線の渋滞が改善しました。



前回調査
最大渋滞長=350m
平均渋滞長=183m

今回調査
最大渋滞長=120m...230m改善
平均渋滞長=113m...72m改善



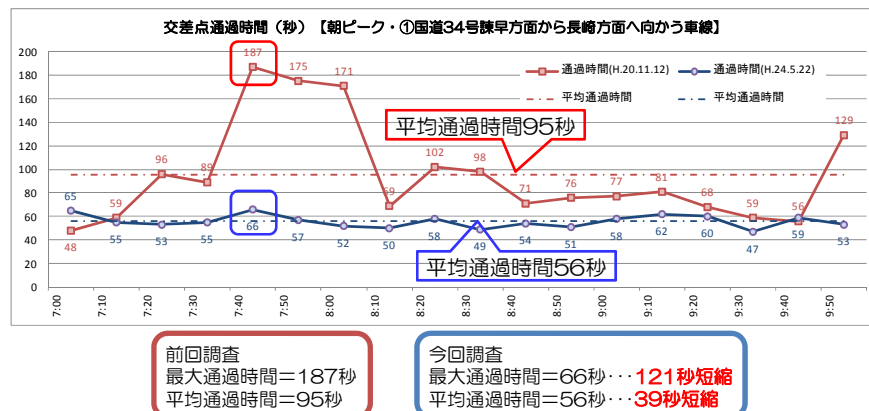
前回調査
最大渋滞長=200m
平均渋滞長=131m

今回調査
最大渋滞長=150m...50m改善
平均渋滞長=84m...47m改善

■交差点通過時間の短縮

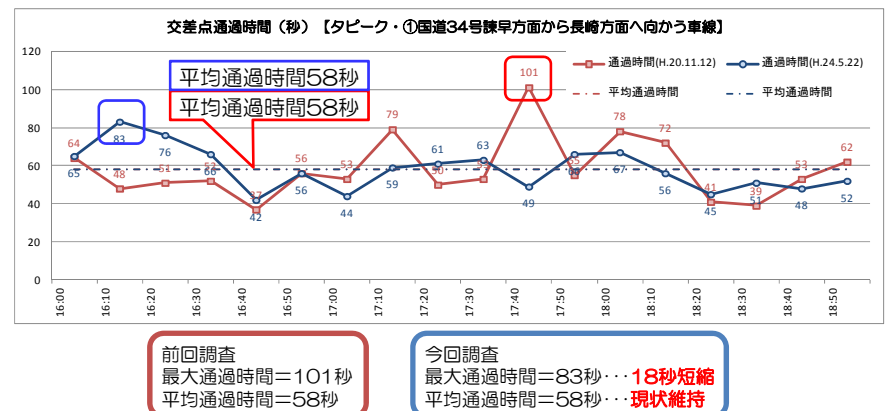
右折レーンの設置により、国道34号の諫早方面から長崎方面へ向かう車両の交差点の通過時間が短縮しました。

※交差点通過時間とは、信号待ちの最後尾車両が、交差点を通過するまでの時間(単位:秒)のことです。



前回調査
最大通過時間=187秒
平均通過時間=95秒

今回調査
最大通過時間=66秒...121秒短縮
平均通過時間=56秒...39秒短縮



前回調査
最大通過時間=101秒
平均通過時間=58秒

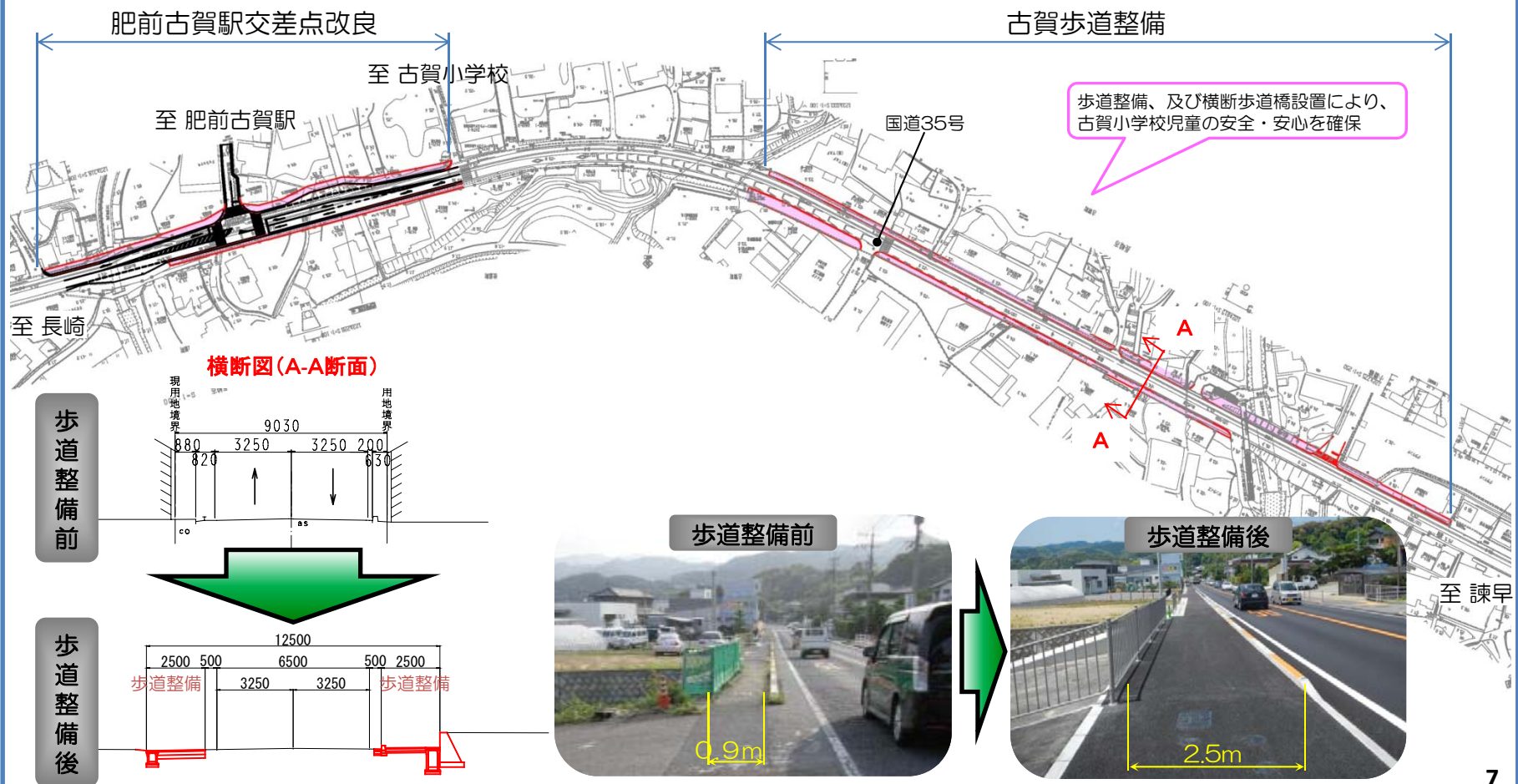
今回調査
最大通過時間=83秒...18秒短縮
平均通過時間=58秒...現状維持

対策事例(R34古賀歩道整備での歩行者対策)【H24.3完成】

事故危険区間番号 31(歩道整備)
(長崎市古賀町)

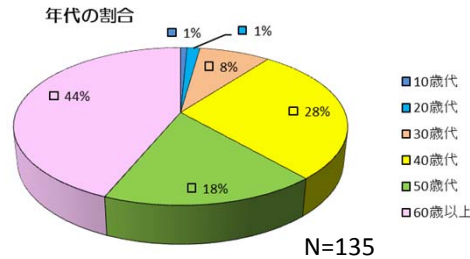
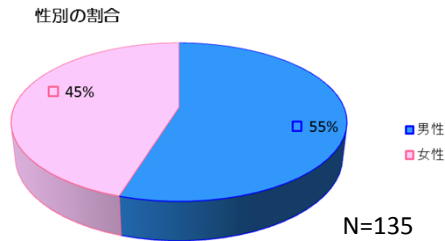
長崎市古賀町の友優歩道橋付近の国道34号は、古賀小学校の通学路となっていますが、歩道が狭く歩行者の安全確保が課題でした。そこで、国土交通省長崎河川国道事務所では、平成15年度から歩道整備事業に着手し、歩道の拡幅工事を実施し、平成24年3月に工事が完成しました。

歩道整備の内容

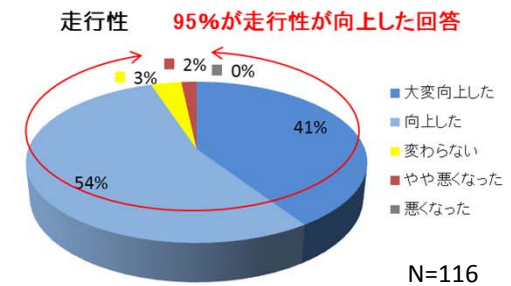
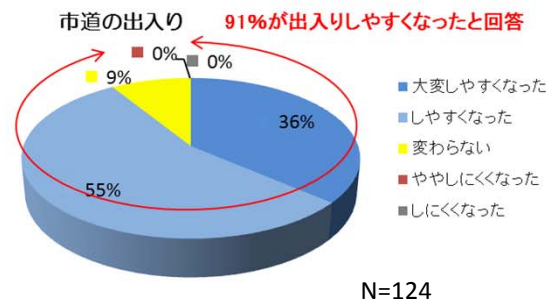
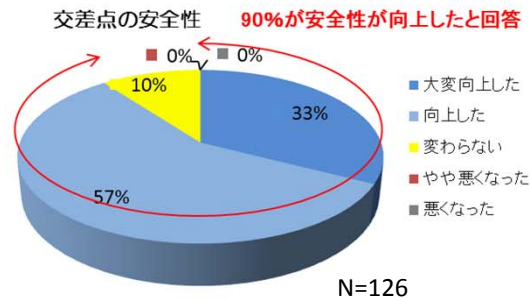


利用者アンケート

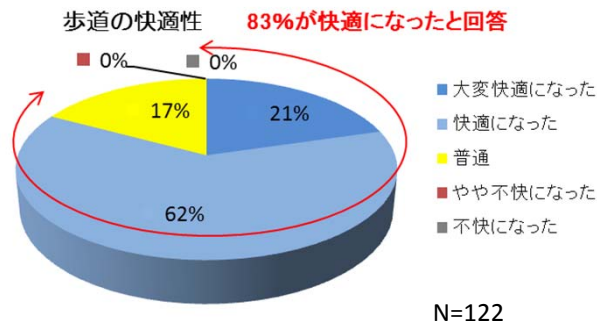
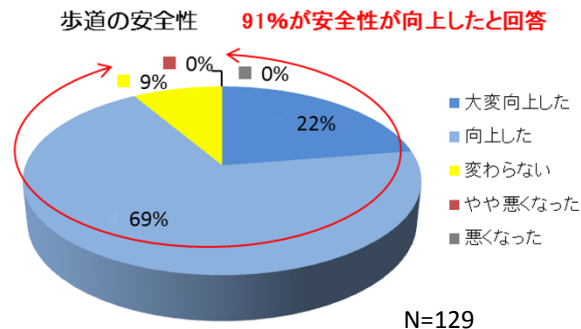
■アンケートにご協力いただいた方の構成



■交差点改良後の安全性・快適性の評価



■歩道整備に伴う安全性・快適性の評価



■満足度が高い方の代表的な意見

<交差点改良>

- ・朝や夕方の通勤ラッシュがとても渋滞していたが、以前より改善されて通やすくなった。
- ・古賀駅への右折も待機時の安心度も増し、大変便利になった。

<歩道整備>

- ・子供たちの通学が安全になった。
- ・ウォーキング中に車が気にならなくなった。
- ・安心して歩けるようになりました。

対策事例(R34大曲地区での事故防止対策)【H23.7完成】

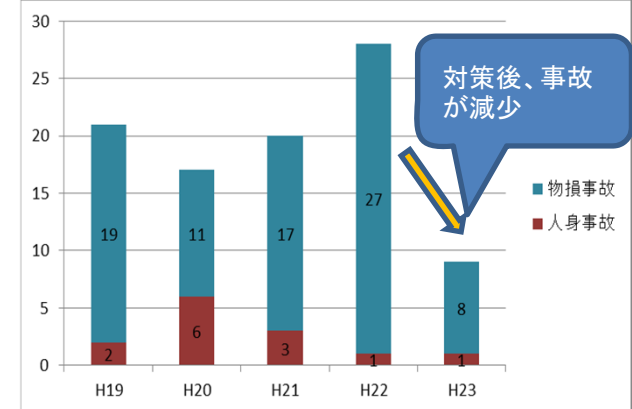
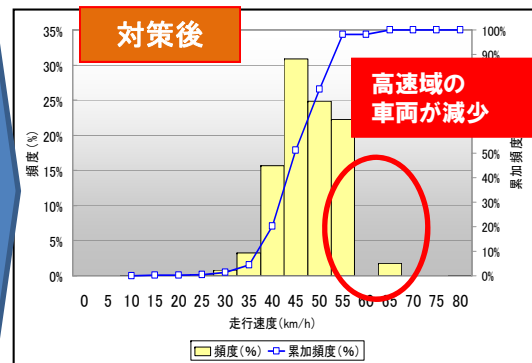
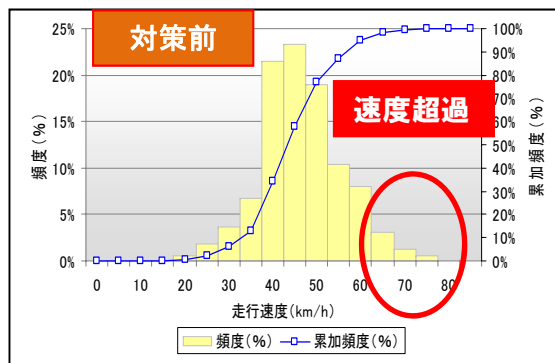
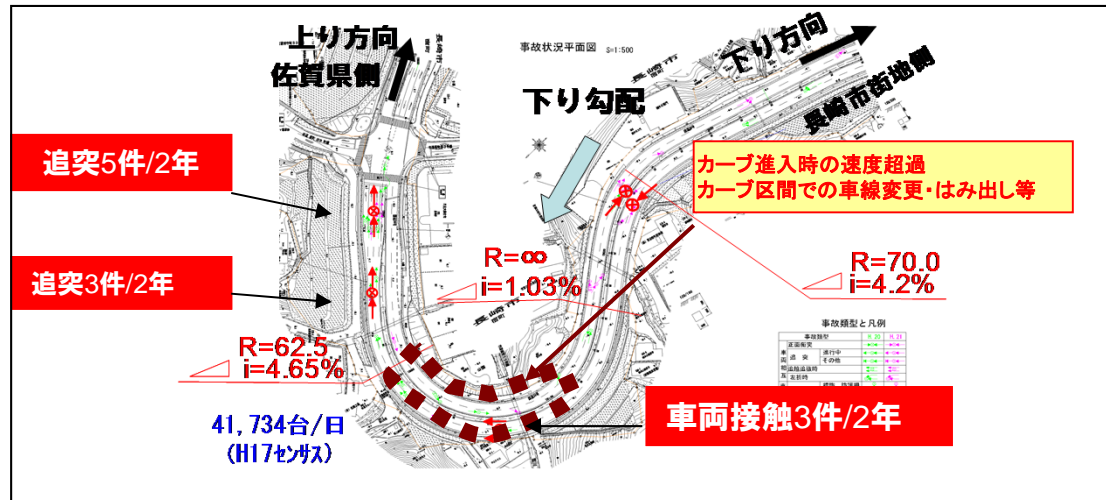
事故危険区間番号 34(事故対策)
(長崎市宿町)

【現状】

国道34号長崎市大曲地区においては、道路の曲線半径がR62.5mと急カーブな上、縦断勾配が4.65%と下り勾配となっており、車両の逸脱や事故等が大変多い箇所。

【対策】 滑り止め舗装とドットラインによる注意喚起対策を実施しました。(H23.7完成)

【効果】 当該区間の事故発生件数が大幅に減少しました。



※H23については、工事完成後の8月～12月までの事故データ

対策事例(R35日宇スポーツセンター入口交差点での事故防止対策)【H24.3完成】

事故危険区間番号 新4(事故対策)

(佐世保市日宇町・大和町)

佐世保市大和町の国道35号日宇スポーツセンター入口交差点は、平成23年4月と5月に連続して死亡事故が相次いで発生しました。

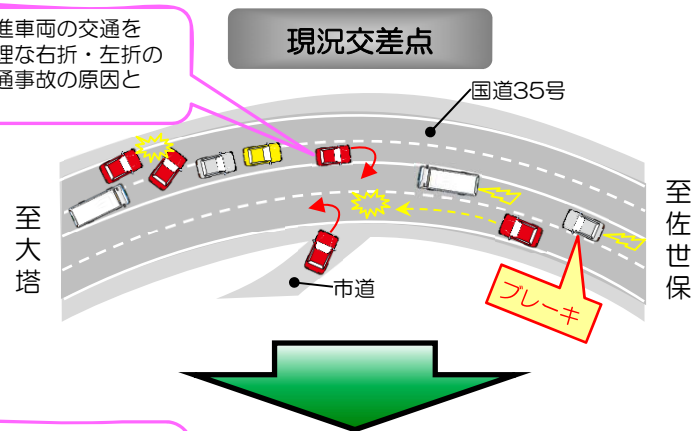
両事故とも国道から市道、又は市道から国道への右折時の交通死亡事故であること、当該地の国道がカーブ区間で見通しが悪い事などから、国土交通省長崎河川国道事務所では、警察と共同で交差点改良を実施し、平成24年3月に工事が完成しました。

国土交通省：交差点形状を改良（右折車両のスペースを確保、ドットレーンマークによる注意喚起）

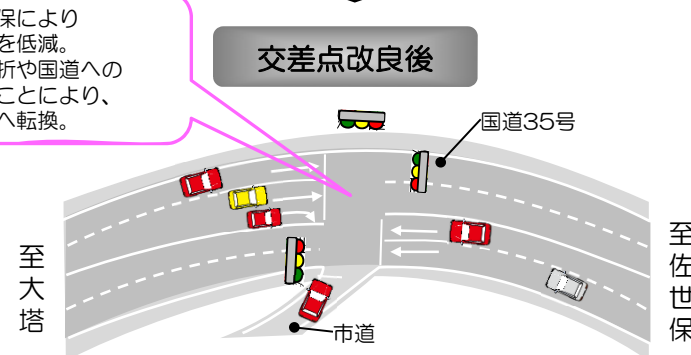
警察：信号機の設置

交差点改良の内容

- 右折車が直進車両の交通を阻害し、無理な右折・左折の状況が、交通事故の原因となっていた。



- 右折スペースの確保により後続車の直進阻害を低減。
- 信号機により、右折や国道への進入機会を設けたことにより、確実な交差点処理へ転換。



対策事例(R35日宇スポーツセンター入口交差点での事故防止対策)【H24.3完成】(佐世保市日宇町・大和町)

事故危険区間番号 新4(事故対策)

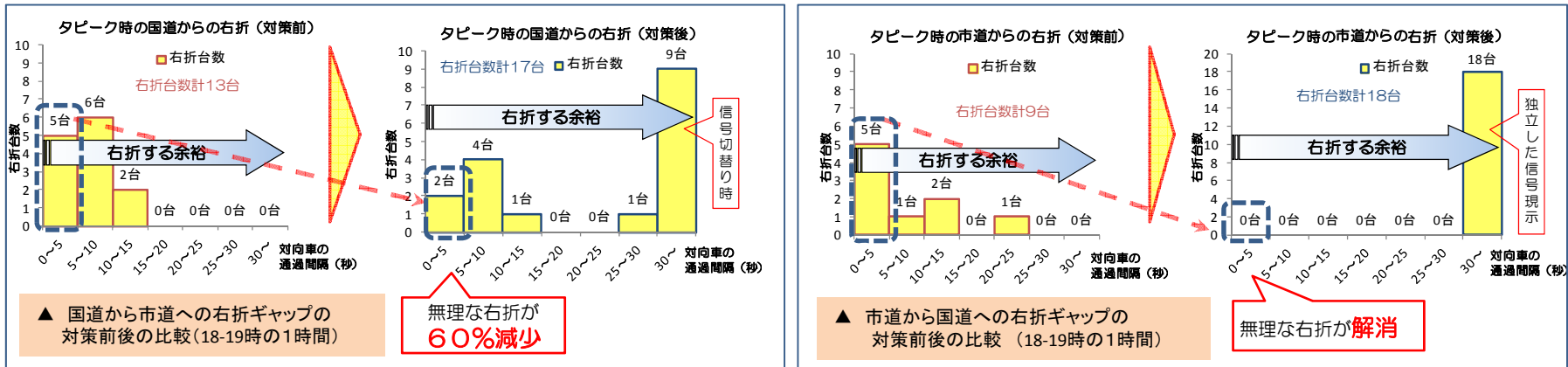
(佐世保市日宇町・大和町)

国土交通省長崎河川国道事務所では、現地でビデオ撮影を行い、ビデオ映像の解析により、右折ギャップ調査、ブレーキ計測調査を実施しました。この調査は対策前(H.23.6.15調査)と対策後(H.24.5.29調査)の2回実施し、対策による交通挙動の変化をとらえました。また、地域住民を対象としたアンケート調査もあわせて行ったところ、以下のとおりの調査結果となりました。

①右折ギャップが大幅に改善

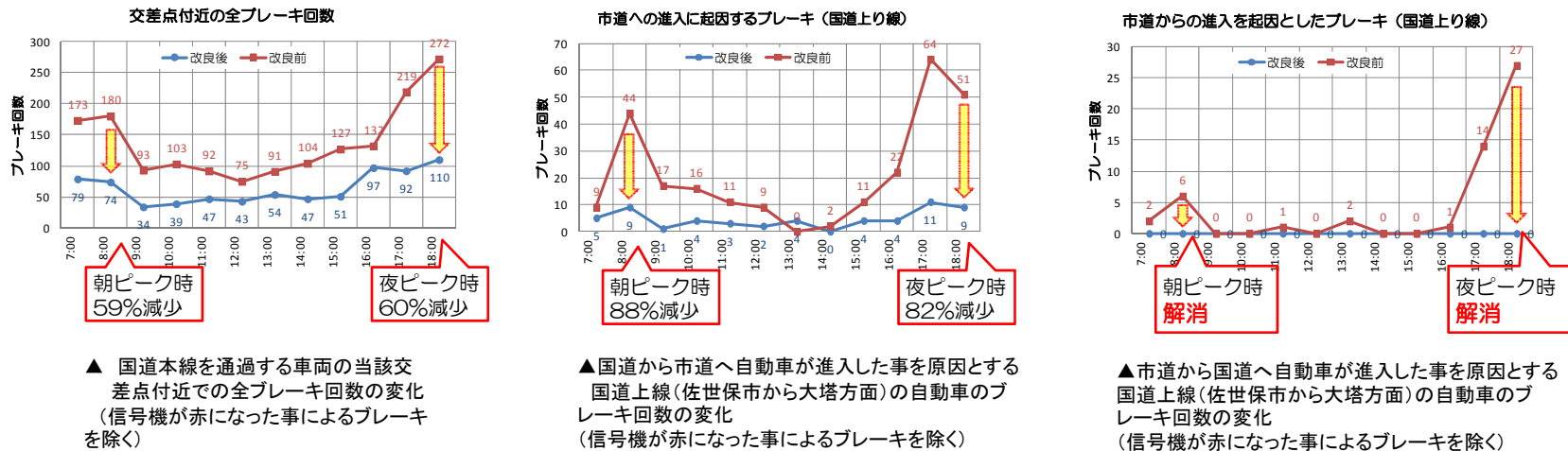
右折スペースの確保と信号機の設置により、無理に右折する車が大幅に減少しました。

※右折ギャップ：右折車両が通過した後、上線(佐世保市から大塔方面)車両が通過するまでの秒数を示すものであり、秒数が長くなるほど、安全な交差点と言えます。



②対策後の交差点におけるブレーキ回数が大幅に減少!

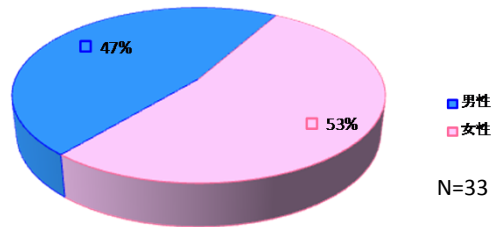
交差点改良に伴い、国道を通過する車のブレーキ回数が大幅に減少しました。



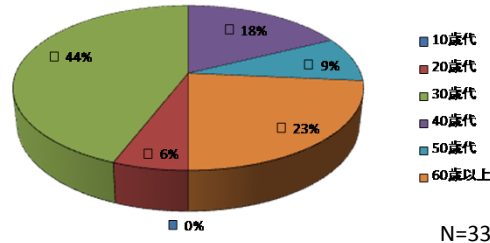
利用者アンケート

■アンケートにご協力いただいた方の構成

性別の割合

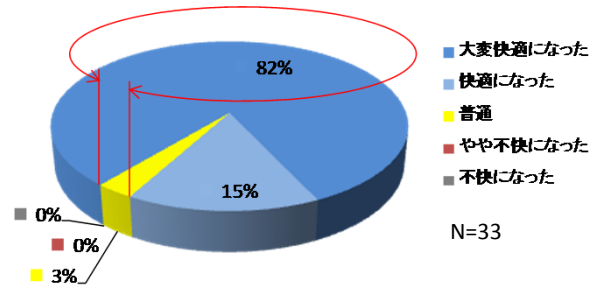


年代の割合

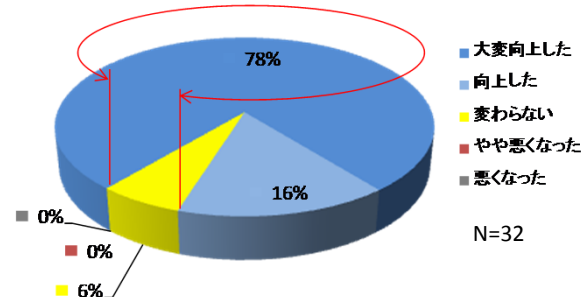


■交差点改良後の快適度・安全度・満足度について

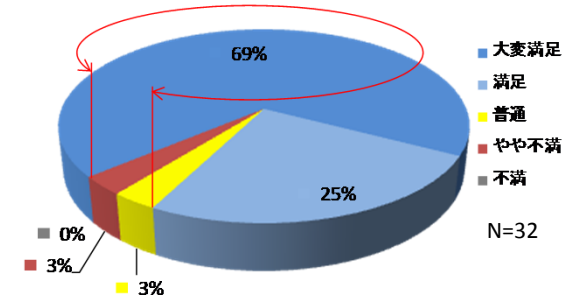
交差点の快適性 97%が快適になったと回答



交差点の安全性 94%が安全性が向上したと回答



交差点改良の満足度 94%が満足と回答



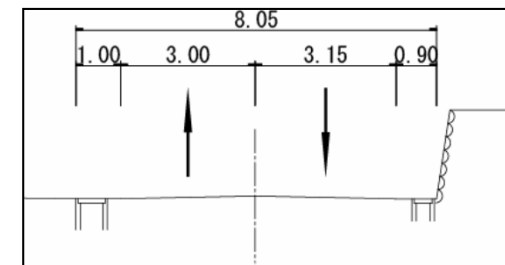
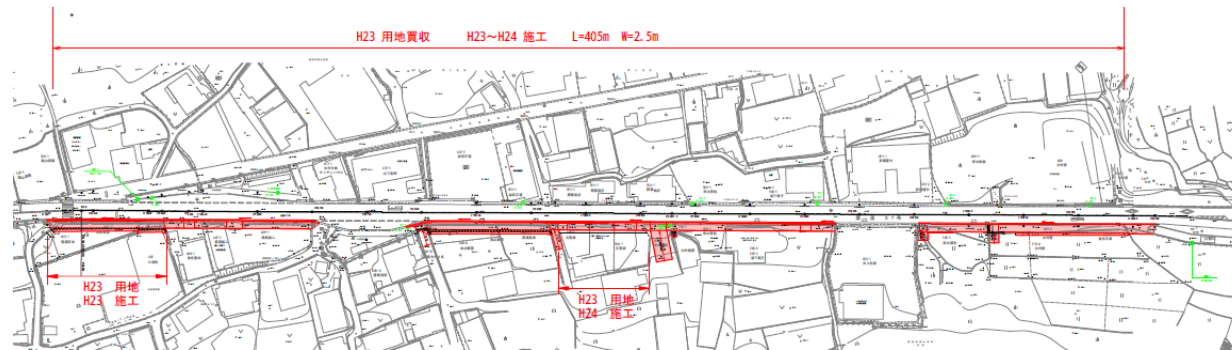
■交差点改良についての意見紹介

【満足度が高い方の代表的な意見】

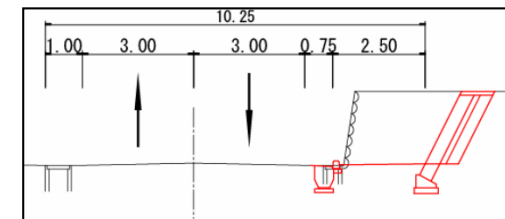
- 保育園の送迎等、今まで怖かった交差点の出入りが、安心して出られるようになった。
- 信号機が設置されたことで、スポーツセンターの市道から国道35号へ、余裕を持って合流する事が出来る。
- 右折レーンができたので、後続車を気にせず、ゆとりを持って右折できるようになった。
- カーブでスピードを上げて走行する車が減った。

雲仙市小浜町北野地区の国道57号は、小浜小学校や小浜高校の通学路として利用されているが、歩道が狭く歩行者の安全確保が課題でした。そこで、国土交通省長崎河川国道事務所では、平成21年度から歩道整備事業に着手し、歩道の拡幅工事を実施し、平成24年12月に工事が完成しました。

歩道整備の内容



完成前



完成後



完成前



完成後

対策事例（R205大塔ロータリーでの道案内）〔H23.3完成〕

事故危険区間番号 97(事故対策)
 (佐世保市大塔町)

【現状】

ハウステンボス方面から、西九州自動車道(福岡方面)へ向かう際、大塔ICにおいて佐世保市街地方面のIC入口に誤進入するおそれがありました。

【対策】

路面のカラー化と、路面カラーに合わせた案内標識(路面のカラー化と矢印の色を統一)に改良し、道案内を実施しました。(H23.3完成)

【効果】

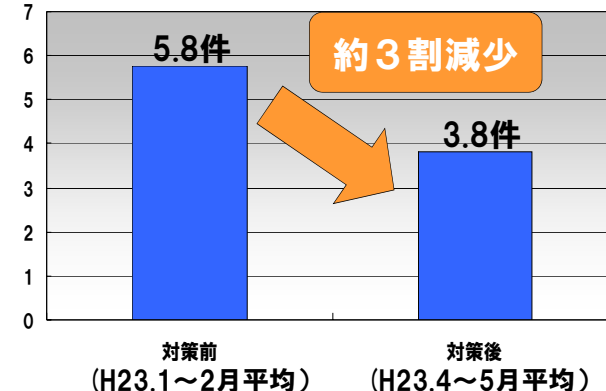
ハウステンボス方面から福岡方面へ向かう交通のうち、誤って佐世保市街地方面へ誤進入する車が**約3割減少**しました。

写真:分岐部(福岡方面は左方向)

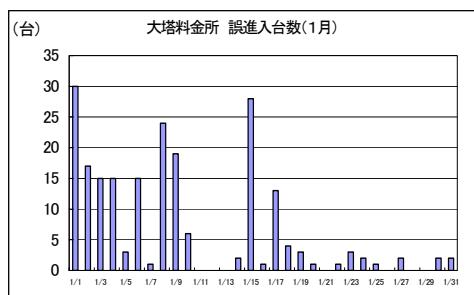


▼高速道路への誤進入台数

(件/日) ランプ入口(佐世保みなと方面) 誤進入台数

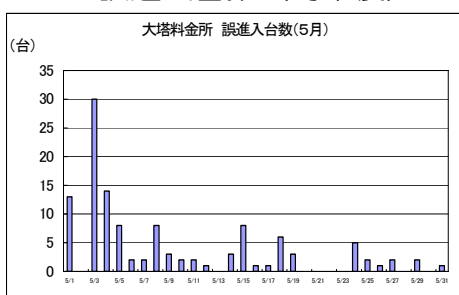


▼大塔料金所(佐世保方面)への誤進入台数(対策前)



平成23年1月の誤進入台数：210台

▼大塔料金所(佐世保方面)への誤進入台数(対策後)



平成23年5月の誤進入台数：120台

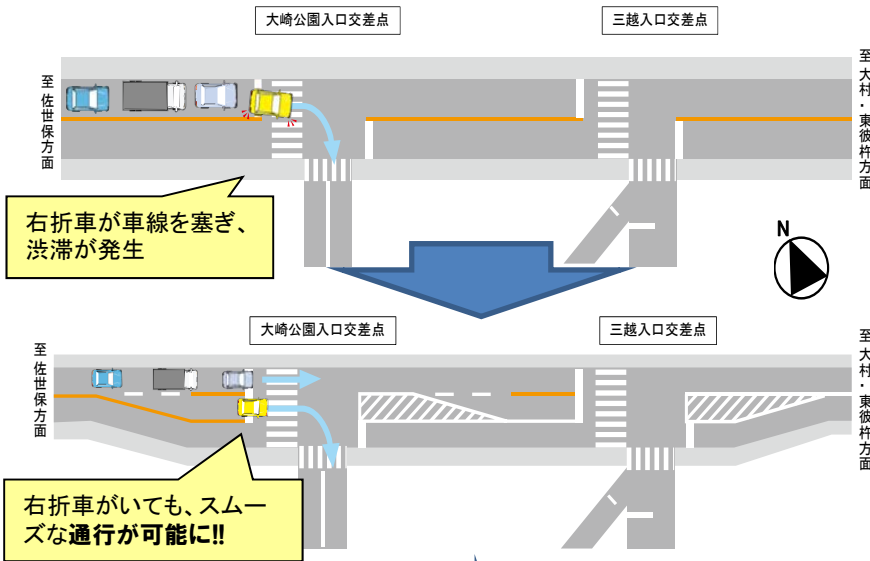
※誤進入により大塔料金所へ申し出た件数

対策事例(R205大崎公園入口交差点改良事業) 【H23.3完成】

事故危険区間番号 103(事故対策)
(東彼杵郡川棚町小串郷)

・国道205号大崎公園入口交差点は、右折レーンがないために後続車の通行を阻害し、交通が集中する朝夕には著しい渋滞が発生。また、事故も多発していました。
 ⇒交差点改良を行ったことにより、最大500mの渋滞が解消！
 ⇒死傷事故件数も大幅に減少！
 ⇒利用者への満足度調査では、渋滞が減りスムーズに通行できるようになったと評価。

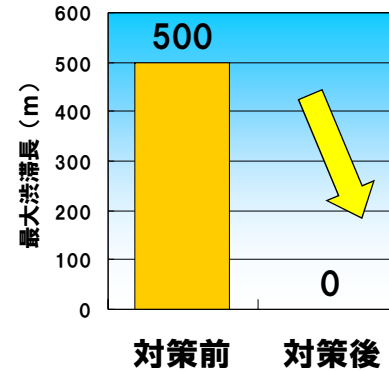
【大崎公園入口交差点における対策内容】



▲右折車が車線を塞ぎ、後続の直進車の通行を阻害

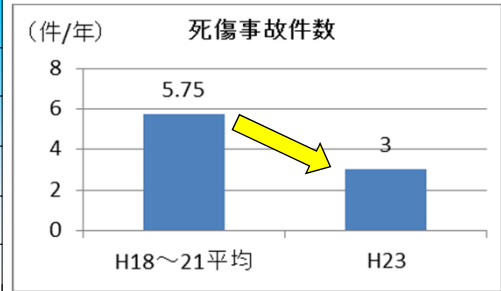
【整備効果】

〈渋滞解消〉



※調査日: [対策前] H20.11.11 (火)
[対策後] H23.06.01 (水)

〈交通事故減少〉

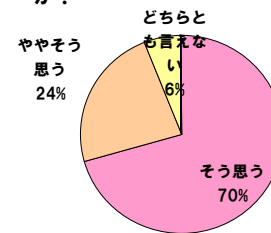


※H23の事故件数は工事完了後の4月から12月までの死傷事故件数

〈利用者満足度〉

学校関係者や地域の代表者にアンケート調査を実施

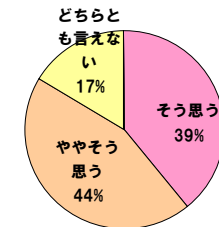
Q:歩道が整備されたことで、安心して通行できるようになったと思いますか？



右折車線が設置されたことで、後続の車が右折車の右折を待たずに通行できるようになった。



Q:以前より渋滞が減ったと思いますか？

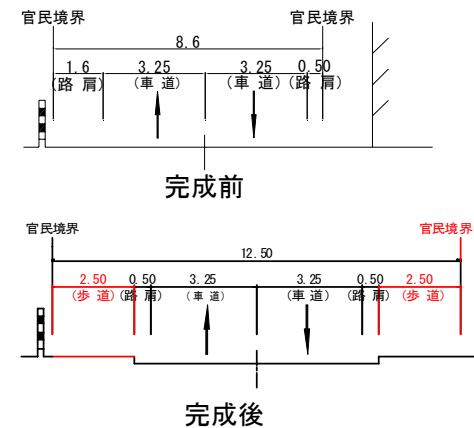


歩道幅が広くなり、見通しもよくなり、ゆとりを持って通行できるようになった。



佐世保市長畑町の国道205号は、宮小学校や宮中学校の通学路として利用されているが、歩道が狭く歩行者の安全確保が課題でした。そこで、国土交通省長崎河川国道事務所では、平成23年度から歩道整備事業に着手し、歩道の拡幅工事を実施し、平成25年3月に工事が完成しました。

歩道整備の内容



完成前



完成後